

新型コロナウイルス感染症（COVID-19） 流行下における避難対応について

新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症が流行している場合でも、集中豪雨や台風などにより、浸水害や土砂災害の危険性が高まると予想される場合には、避難情報を発信し、市民の皆様には命を守るための避難行動をお願いすることとなります。

感染症拡大を防ぐため、避難について以下のことに注意し、事前の準備をお願いします。

避難場所の密集を回避するため、避難方法や避難場所を事前に考えましょう

ポイント

避難所への避難だけが 避難ではありません。

- ① 浸水や土砂災害の恐れがない家庭は在宅避難（2階以上へ垂直避難）
- ② 親戚や知人宅、ホテルへの避難
- ③ 車中避難（家族限定、少人数、短期間）
- ④ 市が避難所（避難場所）として開設する小中学校への避難



感染防止を徹底しましょう

- ① 避難所（避難場所）へ出かける場合、体温測定など自身の体調把握に努めてください。
- ② 避難の際には以下の物を持参（チェック）してください。

別紙「避難者カード」参照

マスク（タオル等）



アルコール消毒（ウェットティッシュ等）

体温計



常備薬

毛布、座布団、着替え

スリッパ（上履き）

食料と飲料水（3日分）

懐中電灯

携帯電話（モバイルバッテリー）

熱中症対策用品（夏季）



関市が開設する避難施設では次のように対応します

- 避難者（家族）ごとに2メートル以上離れたスペースを確保し、十分な換気に努めます。
- 避難者が共有する物品やスペースは定期的にアルコール消毒するなど、衛生管理に努めます。
- 発熱、咳等が出た避難者のための専用スペースを確保します。
- 体調不良の避難者は医療施設などへ移送する場合があります。